

# ☆放課後子ども教室☆

道を歩けば、風に揺れるコスモスやススキの穂を目にするようになりました。まだ青いドングリや栗のイガ、木々の葉っぱもこれから少しずつ色づいていくことでしょう。朝晩のひんやりとした空気を感じる秋の訪れ。夏が終わった寂しさもありますが、季節ごとの、秋ならではの遊びを子どもたちと一緒に楽しんでいきたいと思っています。

2学期に入った8月のプログラムは、プール遊びや生き物探し、おやつ作りなどを行いました。気温が低く、それにもなってプールの水温も上がらない日もありましたが、子どもたちはへっちゃらです。夏の名残を惜しむように、時間いっぱい水の中で遊び続けていました。おやつ作りではフルーツ白玉を作りました。白玉のお団子を丸めてゆでたり、缶詰の桃を切ったり分担して作業を進めます。天気の良い日には青空のもとでおやつタイム。みんなで食べるおやつのはやはり格別です。生き物探しではトンボやチョウ、バッタにコオロギなどの虫をつかまえたり、カエルを探したり、さまざまな生き物に出会いました。虫網からおっかなびっくりチョウを取り出す男の子の横で、豪快にトンボを追いかけて虫カゴに収めていく女の子。去年は小さなカエルを見ただけで逃げ回っていた子が、今年は自分でカエルをつかまえられるようになっていたのも印象的でした。身近な自然に触れ、もっといろんなことを知りたいという気持ちが芽生え始めた子もいます。「学校の周りの木や植物の名前を知りたいから教えて!」とお願いをされたので、じゃあ、一緒に調べてみようという話をしました。自由時間になると学校周辺を散策し、木の葉っぱや種を見つけ、手に取って観察したり、図鑑で調べたりしています。「最近、理科の授業が楽しい」と学校での学習ともつながっているようです。ひとりが図鑑を開いていると、ほかの子も興味を持って寄ってきます。そこから一緒に植物を集めはじめると、輪が広がっていく様子も見ていてとても面白いです。人とのかわり、自然に対する好奇心、子どもたちが遊びの中から学ぶことはたくさんあると感じました。

9月前半のプログラムはスポーツです。低学年はドッジボール。チームで行うスポーツは、個々の能力だけではなく、仲間との連携も必要です。放課後教室の活動では、勝敗よりも仲間と協力してゲームに参加することを大切に考えています。個人のイメージと実際にチームでできることのギャップにイライラしてしまう子もいましたが、声をかけ合う、周りの人にもパスを回すなど、みんなで楽しめる工夫を子どもたちと一緒に考えました。高学年はバスケットボールの予定でしたが、普段、みんなで自由に球技で遊ぶ機会が少ないとの声もあり、時間を区切ってやりたい球技をやることに。予定していたバスケはもちろん、ドッジボール、かたき、サッカーなど時間いっぱい遊びました。「疲れたー! お腹空いたー!」と言いながらも良い汗をかき、良い顔をしていた子どもたちでした。

